

特殊詐欺の認知状況(令和2年6月末)

～6月は3件の被害を認知～

1 県内の特殊詐欺の認知状況 (令和2年6月末現在)

- 被害認知件数は15件 (前年同期比+1件)
- 被害額は約7,214万円 (前年同期比-約8,751万円)

2 令和2年6月中の認知状況

- 被害認知件数は3件 (前年同月比+1件)
- 被害額は約40万円 (前年同月比-約551万円)
- 手口は全て「架空料金請求詐欺」

3 県内で発生した特殊詐欺被害事例の紹介 (6月中)

実在する「NTTファイナンス」を装ったショートメールが被害者の携帯電話に送り付けられ、被害者がメールに記載された連絡先に電話したところ、「インターネットショッピングサイトの利用料金が未納となっている。」などと言われ、合計30万円相当分の電子マネーカードを購入させられ、だまし取られる事案が発生しました。

同様の被害は、5月にも2件発生しており、注意が必要です。

電話での

「電子マネーで支払って。」
「電子マネーの番号を教えて。」
は全て詐欺です。



4 被害状況など

～被害者の年齢・性別構成～

年齢	令和2年6月末(人)		
	男性	女性	計
0～19	-	-	-
20～29	-	-	-
30～39	-	-	-
40～49	2	1	3
50～59	1	-	1
60～64	2	-	2
65～69	2	1	3
70～79	1	1	2
80～89	2	2	4
90～	-	-	-
合計	10	5	15
うち65歳以上の高齢者	5	4	9

～特殊詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	令和2年6月末 件数
振込型 (犯人が指定する口座に振り込ませる)	3
現金手交型 (犯人が直接現金を受け取る)	2
現金送付型 (郵便や宅配便などで現金を送らせる)	4
電子マネー型(コンビニで電子マネーを購入させる)	4
キャッシュカード手交型	1
収納代行利用型(コンビニ決済)	-
キャッシュカード窃取型	1
合計	15